

三輪トライクを導入しました～大規模地震に備えた機動力を向上～

京都国道事務所では、「災害対応の迅速化・効率化（事務連絡R6.3.29）」を受けて、大規模災害時の先遣隊として、三輪トライク3台を12月17日に導入しました。導入後すぐに職員12名が参加して操作訓練を実施、その後、管理第二課職員により京都第一維持出張所から京都国道事務所まで道路巡視を早速に試行しました。今後の発生が懸念される南海トラフ巨大地震、花折断層帯地震に備えて災害初動体制の強化に努めています。



導入された三輪トライク



管理第二課からの導入概要説明



納入業者による機能説明



ドライブレコーダーで安全管理



尾崎事務所長による車両確認



職員による操作訓練



ETCで自動車専用道路も走行